

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年7月16日 (2015.7.16)

【公開番号】特開2014-191668(P2014-191668A)

【公開日】平成26年10月6日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-67707(P2013-67707)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 R 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 G 1/16 C

B 6 0 R 1/00 A

G 0 6 T 3/00 3 0 0

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 7/18 J

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

制御ユニット 1 0 は、周知の C P U 1 2、制御プログラムが格納された R O M 1 3、データを一時保存する R A M 1 4、不揮発性記憶媒体で構成されて車両用表示制御装置 1 の動作に必要な情報を記憶するメモリ 1 5、を含む演算処理部 1 1 (本発明の表示画像決定部、推奨情報出力部)と、演算処理部 1 1 に接続された信号入出力回路 (図 1 では、I / O と略記) 1 6、表示制御部 1 7 (本発明の表示部)、画像処理部 1 8 (本発明の重複領域検出部、対象物検出部)、および接続部 2 0 (本発明の可視光カメラ接続部)を含むコンピュータとして構成される。そして、C P U 1 2 が制御プログラムを実行することで、車両用表示制御装置 1 の各種機能を実現する。また、制御ユニット 1 0 を、1 つあるいは複数の I C あるいは A S I C 等としてハードウェア的に構成してもよいし、その一部および全部をソフトウェア的にメモリ上に構築してもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 3 】

上述の構成が、「赤外線画像から予め定められた対象物を認識する対象物検出部 (1 8) を備え、表示部は、対象物が表示画像の範囲内に存在するとき、該表示画像に該対象物の存在を反映した対象物情報を重畳表示する」ものである。本構成によって、従来技術の構成と同様に、乗員は、対象物の存在を認識することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

- 1 車両用表示制御装置
- 1 1 演算処理部（表示画像決定部、推奨情報出力部）
- 1 6 信号入出力回路（I / O）
- 1 7 表示制御部（表示部）
- 1 8 画像処理部（重複領域検出部、対象物検出部）
- 2 0 接続部（可視光カメラ接続部）
- 2 1 端末装置（可視光カメラ）
- 2 2 赤外線カメラ
- 2 4 操作部
- 3 0 表示器（表示部）
- 4 0 車両